

その他のご意見（構想案以外の意見）について

長崎県庁舎整備基本構想案以外の項目についても、「建設に関する意見」や「建設場所に関する意見」など多数いただきました。

建設の是非や建設場所等については、これまでの議論やパブリックコメントのご意見、県議会での議論を踏まえ、長崎魚市跡地で新庁舎を建設することとしました。

昭和46年12月	県議会が「庁舎建設特別委員会」を設置し、議論が始まりました。
平成元年 3月	庁舎を建設するための「基金条例」を設置し、基金の積み立てを始めました。平成21年度末には、約371億円の積み立てを行っています。
平成 9年 2月	県議会の「県庁舎建設特別委員会」で、「県庁舎の建設場所としては、長崎魚市跡地を建設候補地とする意見が大勢を占めた」との委員長報告がされました。
平成 9年 9月	当時の知事が、県議会で「長崎魚市跡地が最適」との表明をしました。
以上のように建設場所を定め、これを明確にした上で、長崎市議会及び長崎市長の同意を経て、長崎魚市跡地の埋立事業に着手し、平成21年7月に埋立を完了しました。	
平成21年 2月	「県庁舎整備懇話会（民間）」から「新庁舎の建設場所は長崎魚市跡地が適当である」との提言がありました。
平成21年 5月	県議会の「県庁舎整備特別委員会」の委員長報告が行われた後、「建て替える場合の建設場所は魚市跡地とする」との意見書が議決されました。
平成22年 2月	県が「県庁舎整備基本構想案」を策定し、公表しました。 この構想案について、4/19～9/10までパブリックコメントを実施し、1,239件のご意見をいただきました。
平成23年 1月	県議会の「県庁舎特別委員会」の委員長報告が行われた後、「長崎魚市跡地で新たな県庁舎の建設に速やかに着手するよう求める」意見書が議決されました。
平成23年 2月	中村知事が長崎魚市跡地で新庁舎を整備することを表明しました。

意見の要旨	
1	現庁舎は不便で借り上げや修繕費用に多額を要しているため早く建て替え、無駄な出費を減らすべき。
2	魚市跡地に移転賛成。
3	現庁舎には諸課題があり、新たな負担が生じなければ、一日でも早く建設すべき
4	港も近い立地を活かし、長崎に相応しい建物を建ててほしい。
5	県民の安全安心を守るため、早急に建て替えるべき。利便性の面で魚市跡地は優れている。防災上の不安も何らかの対策を行えば問題ないので、県民の不安を除く努力が必要。
6	建設場所は魚市跡地で賛成。財源の目処もあり、早急に建設すべき
7	県庁舎・警察本部庁舎とも古くて狭いので建て替えてほしい。
8	現庁舎はボロボロなので、建て替えに賛成。
9	庁舎の老朽化はもとより、防災拠点施設としての機能は十分とは言えない。長崎魚市跡地は長崎駅に隣接する絶好の場所だ。
10	大賛成、早期の着工を望む。
11	早く建てて欲しい。
12	現庁舎の課題を考慮すると庁舎の建て替えは必要不可欠。
13	現庁舎の状況から新庁舎の建設はやむを得ない。効率化・採算面・県内の活性化に繋がるようなものにし、県民の意見を参考にしてほしい。
14	廊下にキャビネットを設置せざるをえない状況にあり、セキュリティ上どうかと思う。なるべく早い時期に県庁舎建て替えを行い、セキュリティに配慮すべき。魚市跡地は新幹線の終点である長崎駅に隣接している場所。また県有地であり、整地も行われていることから、コストが大幅に縮減できる。
15	基本構想案には全面的に賛成。現庁舎は老朽化がひどく、狭い。各部局も分散しており不便を感じる。早急に建て替えるべき。多様化した行政ニーズに的確に対応できる庁舎づくりが求められる。
16	魚市跡地での建設に賛成、県の心臓部である県庁は総合庁舎として建設すべき。
17	良い基本構想。魚市跡地に早期着工・完成を望む。
18	県民の安心安全を守る為にも新庁舎の早い着工を望んでいます。
19	大変すばらしい基本構想案を見せてもらいました。別に意見はありませんが早期完成を願うばかりです。

	意見の要旨
20	現庁舎は通路が書庫代わりとなっていたり、分散しており、効率的とは言えない状況。建物も老朽化しており、災害時には防災拠点となるのか疑問。早期に新庁舎建設が必要。魚市跡地に移転することで、駅周辺の整備計画と連動し、新たな観光拠点としての期待もある。県庁舎の基金を活用することが景気刺激策になるのではないかと。
21	数年前、県庁を訪ねた事があったが、廊下は薄暗く迷路みたいだと感じた。新築、移転に賛成する。
22	現庁舎の課題を解決するためにも、時代に即応した新庁舎を早急に魚市跡地に建設しなければならない。県民の安心・安全を担保する防災拠点の建設等は長崎県の雇用確保や経済的な波及効果をもたらす事業としても推進する必要がある。基本構想により県政浮揚策を講じ、新しい庁舎を明日の長崎県の未来づくりの拠点としなければならない。基金も約370億円あるので、一日も早く建設方針を決めてほしい。
23	新庁舎建設に賛成。耐震構造をしっかりとしてほしい。
24	現庁舎の課題からすると、近い将来で県庁舎を新築することは賛成。新築する場合は長崎市以外考えられないと思うし、現在地では土地が狭いので、魚市跡地を候補にするのはやむを得ない。
25	大規模地震の際は倒壊の恐れがあるので、是非県庁の建て替えを希望する。
26	老朽化と県民ニーズが変化する中で、庁舎が手狭になっていることは承知している。庁舎の借上費も高額になり、庁舎の建て替えは望むところ。場所を魚市跡地としているのは駅に隣接している点では理解できる。利便性の高い県庁舎として県民の付託にこたえないよう望む。
27	大規模災害で行政機能に支障があれば、県民も不安。ぜひ県庁舎を新しく建て替えてほしい。
28	魚市跡地が最良。耐震構造をしっかりとしてほしい。移転しても浜町商店街に行くと思う。
29	安全面を考えると、早急に建て替えてほしい。
30	現庁舎では目的先を探すのに苦労する。新庁舎を作って欲しい。交通の便を考慮すると魚市跡地が良い。
31	県庁舎は前知事時代に必要、場所も魚市跡地とまとまっていたはず。知事にリーダーシップを期待する。新築移転賛成。
32	駅周辺に庁舎を建てる方が好ましい。新しく長崎を変えて行く方が観光客にとってもいい。
33	現庁舎の諸課題や、車で庁舎に行く際の事故の心配や駐車場が狭いことなどから魚市跡地に移転することに賛成。
34	庁舎の建て替え賛成。現庁舎の状態から発生する損失は莫大であり、庁舎を建てると長期間使えるものになるだろう。景気対策にもなるし、建て替えは早くやるべきだと考える。
35	現庁舎は老朽化がすすんでおり、新庁舎の建設に賛成。
36	災害が起きた際の防災拠点施設ということを考えれば、県庁舎の整備は賛成。
37	老朽化や耐震性不足を考えると新庁舎を建設すべき。県民が訪れやすい庁舎にすべき。

	意見の要旨
38	老朽化に驚いた。災害時の拠点なので、災害に備え立て直した方がいいと思う。
39	財源があるのなら出来るだけ早く庁舎の整備をすべき。現庁舎の利便性や安全性が不十分だということをしっかり説明すれば賛同するのではないか。
40	現在の庁舎は建て替え時期だと思う。分散化も効率が悪いので、分散の解決は県民にとっても職員にとってもメリットのあること。場所も現在地では余分な経費がかかるので、魚市跡地がいいと思う。
41	現在地では余分な経費がかかり、景観が損なわれる恐れがあり、埋立も完了しているのなら魚市跡地しかないと思う。
42	県民サービス向上のため、新庁舎の整備は不可欠。県民に開放された庁舎を望む。
43	現庁舎は余りにも老朽化しており、新庁舎建設に賛成。誰でも気軽に入れるよう職員の明るい対応を望む。
44	老朽化や耐震性不足、を考えると県庁舎は早急に建て替える必要がある。魚市跡地は地震に対しても地盤が強化されており、駅近辺で交通の便も良く最適な場所と思う。
45	基本構想案に大賛成です。
46	県庁舎の移転・建設に賛成。
47	現庁舎は老朽化が激しく、建て替えの必要性は認められる。場所も駅再開発を鑑み、立地条件等妥当と思う。
48	現庁舎は老朽化しており、建て替えが必要。防災面でも強く思う。
49	移転自体には賛成。
50	現況から総合的に判断し、移転やむなし。
51	老朽化が著しく早急に建て替えを希望。
52	庁内にはヒビも目立つので、反対意見も分かるが建て替えた方がいいと思う。
53	老朽化からすれば早急に建設に着手すべき。現地での建て替えは無駄。反対の意見がクローズアップされたが、冷静に判断すれば地域エゴだ。
54	現状では県民の安全を守るための司令塔機能が果たせない。移転新築は当然。また地方分権の将来に向けて行政ニーズにタイムリーに対応するためにも、県庁機能を集約し、利便性や作業性の良い施設に建設を急ぐべき。
55	老朽化し、耐震化や事務の効率化を考えると建て替えが必要。場所についても現在地に建設することができないため、最も近い適地に建設することは妥当。
56	長崎県は離島が多く、船を使うことが多いので、長崎港の近くが良い。県央になると乗り継ぎになるし、魚市跡地の有効活用の点からも魚市跡地が良い。
57	県庁舎建て替えに賛成。場所は長崎駅に近い魚市跡地が最適。
58	県庁舎は古すぎるので早く建て替えるべき。庁舎の建設は地域振興に繋がる。公共事業で中小企業を助けて欲しい。

	意見の要旨
59	大規模な地震があったら現庁舎では危ない。早期に建て替えるべき。経済効果にも期待している。
60	あんな古い庁舎に毎年多額の改修費を使っているなんてもったいない。早く建替えて効率よく仕事をしてもらいたい。
61	老朽化はすすんでおり、建て替えの必要性は急を要する。県民全体のことを考え長崎魚市跡地が適地。
62	構想どおりの金額などで早急に建設をお願いしたい。
63	できれば大村にと思うが、建設の必要性が分かり、構想案のとおりすすめていただきたい。
64	早く県庁舎ができることを望む。
65	県庁は早く建て替えるべきだと感じた。
66	基本構想案どおりすすめることが県民の安全安心の生活確保に対する県の責務と感じる。今の時代、400億円～500億円ぐらいの庁舎建設の検討の審議に半世紀かかるのは長すぎる。長崎県に特別に問題があるのかと思われる。老朽化・分散化から生じる毎年約3億円の無駄から県は工事へむけ行動を起こすべき。埋め立て地も工事が完成しており、今さら何が障害か。
67	県庁舎の魚市跡地移転はほぼ決まっている。今さら県央に移すなどの意見が出ることは理解できない。
68	基本構想案のとおり1日も早く着工して職員の安全をはかるべき。
69	建設場所も決まり、完成まで5年間という計画であり、早急に着工するよう希望する。
70	職員が働きやすい、県民が訪問しやすい行政の拠点として、出来る限り早く建設されるよう望む。
71	魚市跡地での建設が良いと思う。
72	魚市跡地に移転建設と受け取った。賛成せざるを得ない。予算内で精一杯の立派な庁舎が完成することを期待する。
73	現在の計画より20センチほど高くして早急に建設するよう望む。
74	構想案に基づき、早急に建設に着工するよう要望する。
75	現庁舎は暗い、早く魚市跡地への着工をお願いする。
76	県庁舎の建て替えに賛成。
77	庁舎は老朽化しており、室内も暗く、他県の県庁と比べると恥ずかしい。早く建て替えて明るい部屋で気持ちの良い仕事をして下さい。それが県政発展にも繋がる。
78	九州でも、ここ数年地震が起きているので、十分な耐震性を備えた新庁舎の建設に賛成。
79	県庁舎は老朽化しており、観光立県のシンボルとして、早急に建て替えて欲しい。

	意見の要旨
80	震度6強で倒壊する恐れのある建物に行政の中核があることが問題。速やかに工事着工すべき。対馬市民としては大村での建設を望む声が多いと思うが、県都移動となると様々な問題があるので、魚市跡地で良い。
81	基金もあるのであれば、新庁舎の建設は必要と思う。
82	県庁舎の建設に同意する。現庁舎の諸課題を考えると何も躊躇することはない。強い気持ちで決断してほしい。
83	議会の関連部屋以外は古く、効率が悪い。長崎の玄関としても恥ずかしく、早期に建て替えるべき。検討期間中も無駄な経費を使っている。
84	現庁舎は分かりにくく不便で作業効率も望めない。県民が行政手続きのみに利用する場でなく、PR場所としても建て替えた方が良い。
85	現庁舎は改修困難で、魚市への移転はやむを得ない。
86	魚市跡地への移転に賛成。経済活性化・観光客誘致のためには最適地。すべての人が親しみを感じる長崎のシンボルとしての県庁舎を希望する。
87	現庁舎の課題を考えると新庁舎の建設は有効。アクセスや景観などを総合的に分析してほしい。
88	色々意見があると思うが、県民とともに新しい時代を切り拓く庁舎づくりに早く建設することを望む。
89	建て替えが一番良い。コンパクトに建て替えて欲しい。
90	防災拠点施設として耐震性などの高度な安全性が求められるので、早期の着工が必要。
91	県全体を考えると魚市跡地へ移転し、より高い行政サービスの拠点として整備してほしい。
92	現庁舎は古くて危険で効率も悪い。一日も早く魚市跡地で着工して下さい。
93	議論は尽くされたと思う。早く建設に向けてほしい。建設場所は魚市跡地で良い。
94	県庁舎と警察本部庁舎を早急に建設すること。
95	世界各国に恥ずかしくない程度の重厚な県庁舎を建ててほしい。
96	計画に基づき、早く着工して下さい。
97	現庁舎は様々な不備がある。早期に着工をしていただきたい。
98	基本構想案は幅広く網羅されている。現庁舎の建て替えは寂しいものがあるが、現庁舎の課題を考えると仕方ない。新庁舎建設を応援する。
99	現在地での建て替えは制約があるので魚市跡地が良いと思う。反対意見も分かるが、20～30年先を見通して英断して下さい。
100	古くなり不便なら、新しくして効率を上げる。建て替えは仕方がない。
101	基本構想案を決定し、経済活性化のためにも早急に着工してほしい。

	意見の要旨
102	佐世保から県庁に行くには乗り換えが必要で不便。魚市跡地での建て替えに賛成。
103	早急に立て替えること。消費税が増税すると高くつく。
104	現庁舎の課題を考えると新庁舎を建設すべき。
105	現庁舎は迷路のようで、建て替えに賛成。
106	魚市跡地に定める基本構想を良しとする。可及的早い着工を望む。
107	長崎県の15～20年後の先を考えると、やはり県都長崎市の中心地である魚市跡地に新築移転することが最適。
108	震度6強で庁舎が倒壊・崩壊するということを聞いて驚きと不安を感じている。県民の命を守るために、一刻も早く庁舎を建て替えるべき。現在地での建て替えは、敷地が狭い・駐車場の確保が困難・仮庁舎の費用がかかるなどのデメリットが多いようで、魚市跡地は、埋立工事なども終わり、整備されている。地震や高潮、水害対策も検討しているようなので、魚市跡地での建て替えに賛成します。
109	現庁舎は迷路で倉庫のようなところで仕事をした経験がある。早く新庁舎の完成を希望する。周辺商店街は移転後の生活を心配しており、新庁舎の低層階に商業施設を設置し、出店させたらどうか。(ココウオークを参考に)
110	県庁は県の中心にあるべきで、例えば大村市に移転した場合は、県民の利益・利便性を考えると、長期的に見てマイナスが大きいのではないかと。県庁は長崎市の魚市跡地に移転すべき。早急に着工したほうがよい。
111	市民が集えるような新庁舎建設をお願いします。
112	耐震改修では、狭隘化がさらにすすむなどの課題があり、基金の範囲内でやるということであれば、魚市跡地に建て替えるということと理解した。
113	現庁舎の老朽化、耐震性を考えると、県庁舎を建て替えに賛成。現在地での建て替えはは困難であり、利便性を考えれば移転もやむを得ない。
114	現庁舎は老朽化が進んでおり、耐震にも問題がある。そのような問題を解決するために、魚市場跡地への移転案に賛成。交通アクセスが整備されており、駐車場も広く確保できることが必要になる。現在分散している庁舎を集約させ、複雑・多様化する行政ニーズに的確かつ機能的に対応できる環境にすることが大切。
115	県庁を訪れるたびに、暗くて、狭く、迷路のようになっていて、極めて使いにくい建物であることを痛感している。結論的に新庁舎の建設には賛成。
116	県庁舎及び、警察本部庁舎の早急な建設は必要。魚市跡地は駅に近く利便性は高く、離島移住者にとっても便利。
117	県庁舎は移転の上、建て替えをすることが急務であると強く感じた。新しい県づくりの起爆剤として「新幹線」「県庁舎」の二つは外せない。夢ある長崎の創造と、一時的かもしれませんが冷え切ってしまった業界へ輸血する意味でも、知事の強いリーダーシップに期待する。地元長崎市の業界復興と技術力の更なるアップのために早期実現を熱望します。

	意見の要旨
118	県庁舎の移転建て替えに賛成です。移転先は魚市跡地の地盤が安全であるということ为前提に魚市跡地がよい。長崎駅も新しくなる良いチャンス。旭大橋の低床化も含め、海の見える長崎駅を是非、実現してほしい。
119	県庁舎が部署によって建物が違うのも不便だと思う。他県に優る主要な指令基地として県民の安全のためにも早急な建設を願う。
120	県庁舎は、非常時に県民の安全安心を守るための重要な指令基地となる施設。早急な建設をお願いする。
121	現庁舎の諸課題を考えると、あまり時間をかけずに魚市跡地に移転整備する必要がある。
122	県警本部も県庁と一緒に建て替えが必要。国からの補助金を有効に使い建て替えるべき。
123	県庁の移転に大賛成。市内住民から反対意見があると思うが、今を逃せば、いつ移転建て替えになるか分からない。
124	魚市跡地は交通の便もよく、基金も積み立てられているので、一日でも早く着工し、災害に強い庁舎を完成させてください。
125	現庁舎諸課題を踏まえると基本構想案に全面的に賛成。 建設の可否に異論を唱える余地はなく、県民全体の機能性、効率性、歴史的背景を考慮すると、長崎魚市跡地以外にありえない。お互いが個人的利害を排除して、新しいまちづくりを含めて、大局的見地から基本構想案での政治的決断を早期にお願いしたい。
126	県民の声を聴く会は、対策のための反対意見が多く、建設的な意見が少なかった。ほぼ決定しているのなら、セレモニー的なことをするのではなく跡地建設を考えるよう前進してもらいたい。(先延ばししても、数年後には建設しなければいけない)
127	東京都庁に比べると古く、新庁舎の建設に賛成。
128	魚市跡地への新築移転に賛成。
129	魚市跡地に新築移転することに賛成。
130	魚市跡地に新築移転に賛成。機能強化に努めてほしい。
131	魚市跡地に新築移転に賛成。
132	分散化・狭隘化・老朽化・防災拠点としての機能確保に加え、設備の老朽化等を新しいものに替える事によって2, 3億円の省エネが出来ると思われる。一番の大きな意義は、職員のモチベーションが上がり、県民サービスになるとと思われる。現庁舎の耐震改修は135億円の費用を費やしても、特に重要な防災拠点としての耐震基準(I類)を満たすことができないため無駄である。歴史的・文化財的な価値があるとなれば耐震改修する考えもあるかもしれませんが、そうでない現庁舎は全くナンセンスな議論。現在地での建替えも周辺の景観への影響を考えれば無駄なこと。岬の高台に位置し、たとえ地下を最大限利用したとしても、現在地での建て替えの影響の方がはるかに大きい。魚市跡地は県庁舎建設を目的で埋め立てが行い、新幹線の駅の予定地とも近く、最適の場所と思われる。

	意見の要旨
133	分散化・狭隘化・老朽化・防災拠点としての機能確保に加え、設備の老朽化等を新しいものに替える事によって2, 3億円の省エネが出来ると思われる。一番の大きな意義は、職員のモチベーションが上がり、県民サービスになると思われる。現庁舎の耐震改修は135億円の費用を費やしても、特に重要な防災拠点としての耐震基準（I類）を満たすことができないため無駄である。歴史的・文化財的な価値があるとすれば耐震改修する考えもあるかもしれませんが、そうでない現庁舎は全くナンセンスな議論。現在地での建替えも周辺の景観への影響を考えれば無駄なこと。岬の高台に位置し、たとえ地下を最大限利用したとしても、現在地での建て替えの影響の方がはるかに大きい。経済活性化の観点からも早急に建設着工されることを強く望む。
134	県庁建て替えにあたっては、様々な配慮をお願いしたい。
135	県庁舎の整備については、これまでの議論の結果、長崎魚市跡地での新庁舎建設が最適であるとの結論も出ており、駅周辺のまちづくり事業と整合させ、突発的な災害の防災拠点施設として役割を果たすためにも、早急に着工すべき。
136	交通管制センターと科学捜査研究所は狭いと聞きます。渋滞の解消、犯人の特定のために早く建て替え、十分な広さを確保し、頑張ってください。
137	現庁舎は老朽化や耐震不足により、一時期を凌いでも再度建設の問題が浮上してくる。財源も確保されているのであれば、むしろ着工を急ぐべき。
138	建替えの必要性や建替え場所についても基本構想案に大筋賛成。
139	現庁舎は耐震性を含め、建替えが是非必要。敷地内に県警も同居するということで大賛成。県庁と集中配置する方が建設費の節減もでき、大規模災害発生時なども一体となって対応できる。
140	県警本部も場所が分かりづらく、庁舎内も狭い。県庁者同様に建て直す必要がある。
141	魚市跡地での建設を希望します。
142	駐車場も狭く、県外、県内の利用者も不便を感じていると思いますので建替えには賛成。現庁舎は古く建て直す必要はある。
143	新庁舎建設に賛成。現庁舎は分散化していて不便、初めての人にも分かりやすい県庁舎であってほしい
144	長崎のイメージから海・港に隣接している長崎魚市場跡地は最適地。ただし海が汚れており浄化対策が必要。
145	基本構想案を読み、現庁舎の課題と新庁舎の計画を改めて認識した。新庁舎の早期整備を強く望むとともに、整備にあたっては、単なるオフィスビルではなく、百年の大計に耐えうる建築物と周辺環境整備を期待します。

	意見の要旨
146	庁舎整備の問題は議会でもあらゆる角度から議論され、県民も魚市跡地で理解されている。庁舎建設はいたずらに伸ばすことなく魚市跡地に早急に着工すべき。
147	県庁舎は建て替えた方がいい。地震が来たら壊れるような建物では不安です。特に警察本部は治安を守る場所なので、早く建て替えた方がいい。
148	現案どおりで良いと思う。早期着工をお願いしたい。
149	県民への行政サービスを効率的、業務の連携、迅速に進める上でも長崎魚市跡地に移転し、一体的な行政が必要。
150	数十年来の計画に基づき魚市跡地に移転新築すべきだと思います。着工はできるだけ速やかに行ってください。
151	現庁舎の諸課題に伴い、新庁舎の一日も早い着工を望む。
152	基本構想案に概ね賛成。建設地については新しい長崎駅から繋がることにより、アクセスが向上し利用が容易になるので魚市跡地が望ましいと思う。反対する方もいると思うが、早急に建設することが望ましいのではないかと。
153	構想案に沿って一刻も早く建設して下さい。むしろ遅いぐらいである。
154	魚市跡地は県・市にとって最高の立地。ただし地震時の津波対策は研究すべき。新庁舎建設は財源があるのであれば早期に着工すべき。
155	現在の県庁舎の老朽化、分散化、狭隘化等からして魚市跡地への移転、新設は妥当で早急に進めてもらいたい。
156	長崎魚市跡地に早急な建設を要望する。県民の安全安心を支える防災拠点施設としての位置づけを考えると一日も早く対応すべき。
157	建て替えに賛成。移転場所は良いところ。
158	長崎市には平地がないため、魚市跡地での建設で良い。液状化に十分注意し、他の防災面もクリアできれば将来の長崎にとって良い結果がでると期待している。
159	余裕があれば建て替えて良い。
160	県庁舎整備について賛成。何年か前に県庁に行った事がありますが、部屋の狭いのと老朽化には驚いた。計画通り建て替えを希望します。
161	現在地に高層の建物を建設することで賛成。理由は、海沿いはアジアとの交流拠点として産業を中心とした多目的メッセの建設が必要であるため。
162	現在地に建て替えてほしい。現在地は長崎奉行所西役所があった歴史的価値のある場所で、そこに県庁舎があることを誇りに思う。また、現在地から移転すると近隣の街並みの反映も崩れる。現在地が狭いのであれば、江戸町公園を買い取ることはできないのか。
163	現在地は歴史的価値があり、安全と地盤堅固な位置にあり、その場所にあつてこそシンボル。県庁舎は現在地に建て替えるべき。
164	できるだけお金をかけず、長崎の良さや歴史を守るためにも現在地建て替えを望む。
165	建て替えた方がいいと思うが、現在地での建て替えがいいのではないかと。
166	建て替えは必要と思うが、場所はそのままがいい。
167	県庁の建て替えは賛成するが、移転としてはどうか。現在地の方が交通の便が良く、市・県の中心、観光客にも分かりやすい場所。魚市跡地は渋滞しやすく不便。

	意見の要旨
168	県庁舎移転に反対。くんちはあっても商店がさびれば庭先廻りもできない。江戸町公園を活用して徐々に現地で建てていけば仮庁舎もいらぬのではないか。魚市跡地は中国はじめアジアとの交流で県の発展のためにもっと良い活用法があるのではないか。
169	現在地でしっかりしたものに建て替えるのが適当。あまり高い建物は観光都市として美観を壊しますので、今ぐらいの規模で。当面の経費はかかるが、今後行政規模は縮小すると予想されるから。
170	現地建て替えを願います。
171	新庁舎の建設は賛成だが、現在地が歴史的な場所であり、現在地で建て替えた方がいいのではないか。なるべく経費を最小限に抑えることができればいいのではないか。
172	基本構想案を読めば、新庁舎は魚市跡地でなくても現在地に建設しても何ら支障ないのではないかと思う。
173	労務環境を良くし、華美でなくていいので、早く新庁舎を建設してほしい。魚市跡地は災害時に不安があり、現在地に建て替えてほしい。
174	港の真ん中に建てないで下さい。現在地で建て替えて下さい。
175	現在地は由緒ある場所で、ここで建て替えるべき。
176	現在地で分棟分散方式で建替えるべき。現在地は、高台で、歴史が物語っているように各種災害にも強い。分棟分散方式は、1棟あたり単価が安いので、地元建設業者が潤う。将来、建替える際にも時代にあった建物を再築しやすい。現在地の空地に建設するので、引越しも簡易で、冷暖房設備などの融通がきく。
177	あいまいな説明で移転ありき。魚市跡地の埋立ももとはアーバンルネッサンスとして観光施設を目的としたが、県庁舎移転を追記して移転を県民に迫っていて一方的。現在地での具体的・学術的研究で建て替えを。
178	移転反対。魚市移転では、高台からの港の景色が見えなくなる。空きビルも増える。もっと県民のためにはすることは沢山ある。現在地での建て替えがなぜ駄目なのか。これほど安全な場所はない。
179	危険性のある所に建てることは論外。過去の実績で大丈夫な現在地で考えてほしい。
180	県庁の移転は中心街に申告な打撃を与えます。現在地での建て替え計画を現時点で再検討されるべき。
181	県庁舎は現在地に建て直すことで県庁舎を中心に長崎市としての都市景観づくりに活用すべき。
182	現在地に小規模な建て替えをし、収まりきれない分は県内各地域に分散してはどうか。多くの県民と接することができるのではないかと。
183	魚市跡地移転は絶対反対。現在地建て替えを希望する。
184	現在の庁舎は、県北からは特に遠く、県民に便利な場所がない。道州制になった時のことも考え、諫早に建設するのが良い。
185	県民のためには県の中央で空港もあり、交通の中心である大村市に新規移転してほしい。

	意見の要旨
186	県北に住む者としては、空港のある大村に移転して欲しかった。。
187	県政浮揚を考えると県の中央である大村市、もしくは大村市寄りに再検討を望みます。
188	県央での建設を願っていたが、落胆した。場所が決まっており、予算の目処があるなら、いつまでも引き延ばさず、早期着工が望ましい。
189	新築移転に大賛成。場所は魚市跡地でも良いとは思いますが、県全体のことを考えると諫早市辺りがベストではないか。
190	道州制が導入されようとしている今こそ県央に移転すべき。利便性からしても長崎市よりも良い。
191	県庁舎の建て替えに賛成。場所は大村周辺が良い。交通アクセスの良さは絶対条件。
192	長崎県は細長いので、刊行の中心は長崎、県庁は大村市ぐらいが県北の人間にとっては良い。現庁舎は建て替えが必要。他県より見劣りする。
193	交通アクセスからすれば新庁舎は大村に建設すべき。
194	県庁の建て替えは絶対に必要。ただし長崎市は県北からは不便であり、県全体を考えれば大村市が適当。広いから建物の高さや建設費も低く抑えられる。
195	県民全体の利便性の良い大村に建設すべき。
196	現在の県庁を建替えるのは賛成ですが、なぜそれが長崎市でなければならないのか。現在地建替は予算面で、魚市跡地新築では安全面に不安が残る。新幹線も諫早～長崎は未着工の中で本当に長崎市でなければいけないのか。新幹線が通る大村・諫早のほうが良いんじゃないか。
197	不安のある現在の県庁舎建て替えについて大賛成ですが大村市に建設してもらいたい。空港から県庁までの時間はロス。期待を込めて関係当局のご一考を。
198	ハウステンボスの延命のためにも無料ゾーンに県庁を建てるべき。警察本部はハウステンボスか大村に建てるべき。政治家などは飛行機で長崎に入るから。
199	新庁舎は、昔の控訴院跡地(現万才町)が良い。
200	現庁舎は耐震基準を満たしていないが、耐震改修すれば費用がかかる上、執務室もさらに狭くなる。建て替えることは必然。
201	築57年も経っていれば新庁舎の建設はやむを得ない。
202	現庁舎の課題からすると新庁舎の整備をすべきと思うが、場所は議論の余地があると思う。
203	構想案は良くできている。基本的には賛成。
204	県庁の建て替えは賛成だが、魚市跡地か現在地が良い。県央に移転するのは反対。
205	現庁舎は老朽化しており、建て替えは必要。場所は県民の利便性や業務の効率性を考慮し、投資効果が十分図られるよう検討いただきたい。
206	県庁舎の建て替えに賛成。反対されている方たちは地域エゴではないか。県民全体にとって、県庁舎が現在地だろうが駅前だろうがどちらでも良い。
207	魚市跡地への移転も決まっているようで、駅前の活性化は進むと思うが、浜の町方面の過疎化が心配している。

	意見の要旨
208	長崎市内に建設した方が一番良い。諸事項を検討して下さい。
209	庁舎の建設は賛成。ただ全てのものを長崎にというのは駄目。県立図書館や婦人センターなどは県央に願います。
210	良い県庁舎をつくって下さい。
211	現在の県庁舎は防災上不安であり、駐車場もなく不便なことから、別の場所への移転新築が望ましい。
212	県庁舎の移転は必要で。県民活動の拠点機能として早期に実現してほしい。
213	長崎大水害時には、県警本部しか避難できる場所がなかったと聞いている。万一の時の避難場所として、警察は丈夫で広い建物を建ててほしい。
214	子供達が大きくなって県庁を訪れた時、良い県庁舎をつくったと言われるような県庁舎をつくっていただきたい。
215	県庁舎の建て替えは賛成。
216	現庁舎は暗くて狭いイメージがあった。駐車場も狭い。魚市跡地での整備は利便性が良い。
217	基本構想案に賛成です。一日でも早い決定をお願いしたい。
218	現庁舎の改修、現在地建て替えは反対、魚市跡地に移転するのが最適。
219	諸課題を考えると現在地での建設は無理。構想案は30年以上をかけ、色々な専門家の意見が集約された結果であり、魚市跡地が最善。
220	停滞した現状を打開するためにも移転計画を早急に推進してほしい。
221	基本構想のとおり進めて良い。
222	現在地は市外の者に不便であり、歴史的にも由緒ある場所。魚市跡地に移転した方がいい。
223	庁舎の移転に賛成。観光客が多く来るため、長崎の顔となる庁舎の整備が必要。つくりは歴史観あふれるものがいい。
224	賛成します。早くやって下さい。
225	魚市が三重地区に移転してから稲佐・旭町地区は徐々に衰退した。長崎は港と共に発展した街。魚市跡地に計画されているが、二十一世紀の出島として早急に実現することを願います
226	基本構想案のとおり、できるだけ早期に実現してほしい。
227	県庁舎をはじめ、長崎駅周辺の再整備、早期の実現を望みます。
228	魚市跡地の地盤の安定さが一番危惧されたが、県の説明で納得した。魚市跡地に移転することに格別の支障はない。県の経済状態が逼迫している状況での庁舎建設に危惧されたが、基金があるとのことなので、新規に大幅増の予算を組まないことや、県財政を危険にさらさないことを条件に納得したい。
229	基本構想案に全面的に賛成。

	意見の要旨
230	県庁舎が分散している事に不便を感じる事があるので、財政面の確保が出来れば整備基本構想案に賛成。
231	基本構想案のとおりで良い。新庁舎になれば近代的な構造・設備になり、塩害にも耐える構造になると思う。
232	基本構想案について賛成。
233	交通の要衝となる場所が最適地、魚市跡地が現在地に対して優位。
234	構想案に賛成、計画通り早期にすすめてもらいたい。
235	基本的には反対ではありません。
236	基本構想案は別段問題ない。県庁舎の移転は浜の町が寂れるというクレームがあったが決してそんなことはないと思う。新しい時代を切り拓く庁舎を実現し、県の発展・進歩につながると確信する。
237	耐震強度に不安を感じる。交通の便においても移転が好ましいのではないかと。
238	全体的に良くできている。地域エゴに捕らわれず、大局的な視点から進めてほしい。
239	県の機能が一つになり、時代に合った庁舎が利便の良い場所に整備されることは悪くない。
240	基本構想案に賛成。新しい長崎へ向け、速やかに実行してほしい。
241	建物が古く、不便な部分も多いということであれば、庁舎の整備は当然のことと思う。
242	現庁舎は老朽化や耐震上の課題があり、観光立県としてもみすぼらしい。効率性などを考えても魚市跡地への移転が好ましい。
243	老朽化・狭隘化・分散化や耐震性不足や経費を考えると魚市跡地が適地。また、新幹線が開通すれば県庁舎までのアクセスも便利になる。
244	コストを配慮したこの計画は良好。エコ対策も十分に検討され、県民を配慮した構想も時代を考えたものと理解する。
245	現行案でいい。一般県民が利用しやすいようにしてほしい。
246	業務に支障が出るようであれば建て替えに反対しないが、産業振興と財政再建に早急に成果があがるように願う。
247	老朽化・分散化・狭隘化・耐震性の不足を考えると構想どおり移転は必要。
248	県民全体的に交通の便が良い点が一番良い。建設費用の面でも良いと思われる。
249	現庁舎は危険だし、ゴミゴミしている。県全体を考えると、魚市跡地で一体的に整備することは良いこと。県民全体の意見をくむことは不可能なので、ある程度のところで見切りをつけて実施して下さい。
250	現庁舎は迷路のようで分かりにくい。五島にとっては現在地と距離的にもあまり変わらないので、移転しても良い。
251	魚市跡地に移転することは賛成。

	意見の要旨
252	防災の中核が地震などのために不能になった時を考えると、県全体の問題になる。現庁舎を耐震補強したり現地で建て替えるというのは大変難しいのではないかと。地元と調整し、方針どおりの移転を望む。
253	賛成です。
254	働きやすい職場を作ってもらい、県民サービスが行き届けばいい。
255	魚市跡地に移転賛成。駅が近く、大型商業施設も多いので、新たな観光スポットになると思う。
256	魚市跡地の埋立が完了している点、現庁舎の老朽化の状況を考慮すると、県庁舎移転に賛成。
257	魚市跡地での建設でできるだけ早いほうがいい。
258	本館の板廊下のことを考えれば、遅かれ早かれ魚市跡地がベスト。
259	現在地は交通の便が悪く、駐車場が不足している。移転に賛成。
260	県民を守るという観点からいち早く移転してほしい。
261	構想案に賛成。早急な決議をお願いする。
262	現庁舎は交通の便が悪い。移転に賛成。
263	魚市跡地が良い。
264	魚市跡地で賛成。
265	魚市跡地で作ってほしい。
266	基本構想案が早く実行できるようにお願いする。水産業発展維持の起点となるようお願いする。
267	複雑・多様化する行政ニーズに対応するには集約し、業務の効率化や生産性を高め、長崎県の活性化に繋げる必要がある。
268	移転に賛成する。
269	県庁舎が長崎駅近くで建て替えられると離島住民はとても便利になる。
270	建て替えの時期だと感じた。
271	環境配慮や県民配慮など色々な点で配慮が感じられ、良いと思う。
272	バリアフリーなど様々な点に気をつけており、とても良い。耐震性の確保もしっかり議論されており、素晴らしいと感じた。
273	魚市跡地の港に向かっての景観は日本一。新庁舎の建設を楽しみにしている。

	意見の要旨
274	現庁舎は駐車場が小さく不便。移転に賛成。
275	現庁舎は狭隘で廊下などにロッカーがあるため、災害時に県庁利用者や職員が危険。県民にとっても建て替えた方が良い。
276	魚市跡地への新庁舎の移転は早く決めて下さい。県民の78%は賛成だと思う。
277	新庁舎を魚市跡地にすること。過去、県内のほとんどの市町が県央に建てる要望をしており、この危機感を長崎市民は持つ必要がある。
278	県政発展のため、衆知を結集して練られたもの。計画は十分練られているだろうから、強力に推進すべき。
279	現庁舎は古く、倉庫みたいな建物でびっくりした。早く基本構想案どおり進めてほしい。
280	歴史的背景や経済的な影響を考えると基本構想案のとおりがベスト。
281	魚市跡地での建設に賛成です。
282	県庁舎が新しくきれいになることは、県民として喜ばしいこと。庁舎がきれいになれば、長崎も生まれかわる。活気あふれる長崎にしていってほしい。
283	災害防災の拠点や県民サービスの向上等を果たす施設整備は魚市跡地がベスト。
284	通信指令室や交通管制センターを見学したが、長崎県の施設は狭くみすぼらしいと思った。早く建て直して欲しい。
285	佐賀県庁は城下町としての名残りを見える県庁前のお堀が有名です。古くより海外に開かれた長崎の新庁舎が海を見渡すロケーションに移転することは大賛成です。
286	県民所得向上のためにも、対アジア貿易や観光立県である長崎を考えると、港・新幹線駅など交通アクセスの面で立地条件に優れた魚市跡地に移転することは県活力のアップにつながるものと思う。
287	県議会で長年にわたり検討に検討を重ねてきた基本構想案に全面的に賛成。
288	長崎大水害時に警察本部は多くの市民が避難した。このように大災害時は市民の避難場所となり、また、市民の救出救助の指揮所となる警察本部庁舎は、他の建物にもまして丈夫で余裕のあるものでなければなりません。県民の安全安心の拠り所となる警察本部庁舎の早期建設を強く望む。
289	県北市民にとっては正直関心度の低さが感じ取れる。しかし、多くの費用と時間を見識者を中心に長く審議されており、魚市跡地での着工が最良と思う。
290	県の行政拠点をまとめることの利便性は大変重要。基本構想案には概ね賛成。
291	現庁舎は非常に狭く、県の中核機関として大丈夫なのか疑問。特に事件があったら現場に真っ先に駆けつける警察の機動捜査隊や自動車警ら隊が、本部から離れたところにあることは、県民として大いに不安。基本構想により、早急に不安感の解消に努めてもらいたい。
292	老朽化・耐震性の欠如などを考慮すると、早急に移転・移設を実施すべき。県民の利便性にもつながるし、現在の長崎県の経済状況を考えると、景気回復の一助となる。基本構想に異論なし。

	意見の要旨
293	警察本部は長崎県の治安の要となるものなので早急に堅固な庁舎を建てるべき。
294	震度6強の地震が発生した場合、県庁舎、警察本部が倒壊するということを県民がはっきり理解しなければならない常識的に考えた場合、そういう状態の庁舎でも構わないという人はほとんどいないと思う。魚市跡地は様々な条件から考えてもベター。
295	機は熟す。実施計画に具体的に組み込んで欲しい。
296	警察本部は県民の安全安心を守る拠点であることから、耐震性などを考え、早く建て直してもらいたい。
297	長年検討を重ねており、財源もクリア出来ていることから賛成する。
298	分散している庁舎を同一敷地に集約することは、利用者にとっては便利なこと。
299	市民を守ってくれる警察本部が新しくなって更なる安全を管理してくれるのであれば移転賛成。充実した設備や施設がいいと思う。
300	駅周辺である魚市跡地への移転に賛成します。
301	基本方針・整備計画には理解できる。特に、現在分散化された県庁舎施設が集約化されることについては、非常に効果的、効率的であると思う。
302	県庁舎の魚市跡地への移転は賛成。
303	基本構想に概ね賛成。
304	現庁舎は分散しているため分かりにくく、県民は不便に感じている。一箇所に集中してもらいたい。また、近年全国で大地震が発生し、防災拠点機能の確保は不可欠。多額の事業費を費やして造成された魚市跡地で事業を進めるべき。
305	県庁舎は県全体の利益を確保できる機能的拠点であるので、高いパフォーマンスを発揮できることを第一に検討いただきたい。その際には、産業振興財団も県施策と一体となり、拠点は同じく(または近接)することで、効率的業務が可能になると思われる。
306	県庁舎は県民全体のものであり、長崎市民や一部地域のためのものではない。直線距離で1Kmにも満たない場所への移転は特段問題とは思わない。
307	長崎県庁は長崎駅周辺整備に連動し、庁舎再整備で現庁舎を地域にひらかれた街づくりに、その跡地を有効利用することは全国的なモデルになる。庁舎内容についても職員の意見を広く聞き、最新鋭の機器を活用しながらコストパフォーマンスに留意しており賛成。意見の集約・整理は大変でしょうが可能な限り取り込んでください。
308	移転は賛成。
309	現在の場所では狭く、駐車もなく不便。駅のそばになれば、交通機関を利用してもいいので便利になる。
310	現在地では、駐車場も狭く、公共交通機関の利便性もあまり良いとは思えないことから、長崎の玄関口である長崎駅付近である魚市跡地が望ましい。

	意見の要旨
311	都庁のように魚市跡地も観光名所になったらいいと思う。魚市跡地の土地の耐震性も調査済みということで安心した。
312	潮位が絶対大丈夫との確認がとれれば、魚市跡地への早急な移転を望む。
313	基本構想案に基づき、なるべく早く移転するよう希望します。
314	本来、県庁に入るべき部や課が他のビルに入居している。早く改善し県民が利用しやすい庁舎にしていきたい。
315	車社会でありながら、県庁の駐車場は狭く不便であり、現状に即していないので移転した方がいい。
316	現庁舎の現状や魚市跡地の地盤を考えると、魚市跡地が適地と思う。防災拠点の整備は大事。
317	現在検討されている数カ所の中では魚市跡地が最適だと思う。早い決定を望む。
318	1日も早く移転してほしい。内需拡大になるし、新しい駅周辺が長崎県の目玉になる。
319	移転に大賛成。一日も早くお願いする。県庁が現在地にあっても銅座・思案橋の飲食店は右肩下がり。早く工事に入れば、少しお金が回るのではないか。
320	長い目で見て考えると、今のタイミングが良いと思う。基本構想案の内容はとても考えてあって素晴らしいと思う。ハード面での整備と併せて職員の皆さんの意識改革もぜひ進めていただきたい。人が集まり、その人たちが使いやすい施設かどうかは、そこでサービスを提供する人次第だと思う。
321	県庁舎整備の基本構想案に賛成。財政難の中、338億円の血税を使うことはとても大きな事だが、長崎の将来を考えればやはり必要な支出ではないかと思う。大阪府でも、世界を相手にビジネスを行う拠点となるグランドオフィスとしての府庁舎を南港のWTCへ移転する計画が進められている。長崎の県庁舎もグランドオフィスとして国内・海外企業と長崎の企業とのビジネスが円滑化することを新庁舎には期待する。
322	反対の意見もあると思うが、県には県行政の役割がある。特に県民の安全を守るという大前提で思い切った大胆な実行力で計画をすすめてほしい。
323	県庁舎の移転に賛成。構想案を聴くとなるほどと思う。
324	県庁舎は現在地が最適。理由としては、歴史上由緒ある場所であること、交通の便が良いこと、隣接の江戸町公園を活用すれば十分な広さができることが挙げられる。
325	長崎の有利な点は、江戸時代唯一の外国貿易であったこと。長崎の旧市街を残す努力をしなければいけないが、県庁舎移転で中心部の商店数が減少していく。シャッター通りの町に観光客は来るのか。
326	老朽化・災害対策のための庁舎整備であれば仕方ない。できれば現在地に建設してほしい。
327	現状では建て替えもやむを得ないと思うが、魚市跡地に移転するのは反対。現在地に建て替えることを再度検討してみてください。移転すれば浜の町界隈は人の流れが変わり、商店街は寂れ、おくんちの踊り町も出演が少なくなるだろう。
328	県庁は防災拠点として万全である必要があり、庁舎の移転はやむを得ない。大村に移転してほしい。県内各地や他県へのアクセスが良い。土地もたくさんある。

	意見の要旨
329	長崎県は離島を抱えるなど行政面の負担が大きいことは回避しがたいため、県民負担を軽減するためにも県央地区への県庁移転を希望する。
330	県民全体のことを考えれば県央、特に大村市内が交通アクセスを考えると最適。
331	魚市跡地では交通渋滞の原因になりそう。諫早は長崎県の中心で、交通の便も良く、莫大なお金をかけ災害防止をしているので、諫早市が良い。
332	県全体の県民が行きやすい県央に設置してほしい。これからは地方の時代。地方の県民が利用しやすいところに設置してほしい。
333	大村市には、防災的にも飛行場や自衛隊がいる点、国立病院は離島を抱えており、県全体の県庁であるためには大村周辺に移転すべき。
334	長崎空港、自衛隊、国立病院などが所在し、地理的に県民全体の利便性を考えると県央の大村周辺を希望する。
335	県央誘致をしてきたが、魚市跡地で構想案が発表されたことは残念。
336	大村周辺が望ましい。長崎県は離島を抱えており、空港へのアクセスを考えると長崎は遠すぎる。
337	大村は交通の利便性が良く、大村自衛隊を演習地へ移転させれば場所も確保できると思う。
338	諫早は県の中心であり、駐車場が多く取れ、交通機関が便利である点から、移転場所は諫早市に願う。
339	新庁舎は大村が最適。県央を発展させるためには大村が最適。県北の県民が県庁で用件を済ませるにはかなり利便が良い。
340	県庁舎は県全体のもの。今後、道州制や県庁のあり方を考えると、全ての県民の利便性を考慮すると、諫早か大村に立地することが将来のため。
341	県庁は大村に移してほしい。長崎は観光地で将来を考えると大村を軸にするのが良いと思われる。
342	県庁が県内で一番大きい市に置くべきという規制概念を県民が取り払わないといけな。その上で何処に県庁舎を置くに相応しいかを検討すべき。県央に県庁舎を造れば、半分の200億円程度でできうるだろうし、離島からも来やすい。現在地・魚市跡地は観光に寄与すべき。
343	新幹線は県央までとなれば長崎に県庁を決めるのは軽薄。交通の便から大村が便利。
344	県全体を見ると、大村が良い。空港があり、土地が広く、全体的に利用しやすいと思われる。
345	総合的に考えると、大村地区が妥当と思います。
346	県北の者にとっては、大村市にできると歓迎する。
347	「県都を県央に」との意見はなかったのか。福岡県では地方に行くのに一時間という目標で道路網の整備がされている。
348	移転先は大村が良い。県の中央部であり交通アクセスも良い。
349	県央地区でもいいのではないか。交通アクセスの面でも大村あたりにある方が便利。
350	県央に建設することを望む。交通アクセスを考えると、県民みんなが助かると思う。

	意見の要旨
351	県央は交通の要所であり、県庁舎は諫早市に設置すべき。
352	通勤時間帯の渋滞が大いに予想されるので魚市跡地建設は反対。交通アクセスから言えば県央地区が良い。
353	庁舎の移転は、将来を考えても空港のある県央の大村の方が良いのではないかと。
354	県庁舎は、県民の皆さんの財産です。大村あたりに設置したらどうか。空港も近いし、県北からも訪れやすいし、土地も広い場所が沢山ある。
355	大村の入国管理庁跡地に長崎県庁舎が移転するのが交通の便と長崎県の地政学的見地から言っても妥当だと思う。
356	県庁が長崎市内にあると、建設すると県北地域のものにとっては遠い。諫早や大村が良いのではないかと。
357	県庁は大村に置くべき。今の長崎市では県の中心としては端っこすぎます。大村は、陸・空共に長崎の玄関口となる。
358	県央地区に移転する方が交通アクセスや利便性が高いのではないかと。
359	県内の交通性を考え、県央地区にあるべき。防災拠点ならなおさらである。県内どこからでも1時間以内で対応する場所であればならない。
360	魚市跡地は渋滞し不便。交通の要所である諫早市に移転できないかと。
361	佐世保への移転も検討して欲しい。
362	なぜ長崎市の中心部に移転なんですか。県央とか県北ではいけないのか。
363	県庁移転を佐世保市にして下さい。
364	県民にとって利用しやすい庁舎になることを望む。
365	長崎大水害を考えると、防災対策の部署は現在地が良いが、移転する場合は、交通アクセスが良いところがいい。
366	離島からの修学旅行は平和学習や歴史散策をすることがほとんどなので、県庁は長崎市にあった方がよい。
367	建設場所は長崎市が良い。
368	地震の際の液状化に対応するため、改良や強化対策の費用は発生しないのか、また新幹線の長崎駅までの延線も未定であり、交通アクセスの面からも中心となりえるか疑問。再度、予定地の見直しを行った方がよいのでは。
369	県庁舎の移転に反対。魚市跡地移転費用は関連経費を含めると1000億円を下らないという。大恐慌時代に膨大な税金を投入して移転新築することが必要とは思えない。
370	耐震補強で内部改修で十分利用可能。長崎大学でも現地再開発でやった。県内に現存する建物を保存整備して観光資源として活用することにお金を投入すべき。
371	財政が逼迫している現状で、庁舎の建て替えに反対。

	意見の要旨
372	本計画は移転ありきで実行することには絶対反対。
373	いつのまに移転が決まっているのか。土木工事をやりたがっているようにしか思えない。移転反対の県民の声を聴く気は全くないのか。
374	現在地に現在の建物で景気よくなるまで頑張ってください。税関の建物でも耐震加工をして使用されています。
375	現在の場所で補修してほしい。高層の建物で昔からの景色がどんどん壊されている状況を辛く思う。県外や観光客も古き良き景色が壊されている町に行ってみたいと思うか。古き良き時代に復元していただけないか。魚市跡地に魚市を復活させてみてはどうか。
376	県の財政が厳しいので、大規模補修に留めるべき。
377	建て替え反対。建て替える時期ではない。財政再建が先。企業誘致や観光客の増加などの県民所得を上げる資金に充当すべき。
378	長崎県は財政赤字なのに庁舎整備に金をかける必要があるのか。県庁移転反対。
379	県庁移転に反対。県庁移転の前に学校耐震化を優先すべきではないか。県庁舎は耐震改修では駄目なのか。もっと県民の意見を聴くべき。
380	魚市跡地への移転建設反対。本当に水際に県庁を建てるのか。
381	移転反対。現在地は災害発生時に迅速に対応できる場所。人口減少や経済が停滞している時に莫大な税金を使うことは大反対。
382	修繕などで対応できないのか。分散化して困るのは職員だけではないのか。
383	魚市跡地はアビキ被害があり、埋立地なので地盤が心配。現在地は政治の中心であり捨てがたい。
384	県庁舎移転新築反対。今の県庁があるから浜の町が反映できる。改修はできないのか。
385	何のために移転しないといけないのか？ 県庁舎には、特定の県民しか行かないのではないのか。県民生活の安全安心を支えるのであれば、まずは長崎の経済を支えて下さい。県民の税金を使うのなら、県庁舎の移転について投票したらどうか？ 県民のためというが、一部の人間の利権だけを重視しているように思われます。私は今の長崎では県庁舎移転は反対です。
386	県庁舎の移転に反対。経済状況が悪く、これ以上借金を増やすような行為はやめて下さい。どうしても県庁を建てたいのなら、知事・県職員の給与を減らし、県議の数を減らすなどして、建てたら良いのではないのか。民間企業だとそうしてます。魚市跡地は商業施設・文化施設などにしたほうが観光客などには便利なのではないか。
387	移転の必要はない。災害時を想定するのなら現在地が最良。魚市跡地は観光施設また商業施設が望ましい。
388	県庁舎移転に反対。他県の良いところを取り入れ、福祉、医療、子育てなどを充実させるのが先決。観光、水産資源にもっと力を入れるべき。離島に対しても、ガソリン税を軽減するなどの措置を行ったほうが、良いのではないのか。
389	県庁は少し我慢してもらって魚市跡地には観光客が楽しめて地元も潤うような市場をつくってほしい。
390	財政が苦しい中、新築反対。耐震は改修で良い。

	意見の要旨
391	反対。不景気の時、多くの借金があるのになぜか。古い庁舎、耐震でない、分散している等あるがまちづくりを考えてみると必要ではない。
392	大地震への備えはのんびり構えているものではないので、早急に耐震工事をすべき。地元分割発注することで地域経済に波及する。新庁舎整備より、医療・県民生活が最優先である。
393	魚市跡地へ移転する構想には納得ができないため、現在地での耐震工事や周辺ビルへの分散化を求めます。
394	県庁舎の移転は時期尚早で絶対反対。地元住民の反対が多い中で短絡的に踏み切るべきでない。大村等含め、再検討の余地がある。耐震補強などしてあと20年は辛抱できる。将来県が大きく発展し、経済的にも新築移転の時期となった時点で場所も含め、再検討すれば良い。
395	長崎水害で被害を受けた場所を何故選ぶのか。気象状況は想像をはるかに超えた異常なもの。災害が起きて想定外と良いわけをしてもすまされない。危険性は避けるべきという専門家もおり、そうした意見も出して説明してほしい。
396	旧魚市跡地に立派な高層ビルを建てても人口減少などにより国の税収が減ってくる。そうなれば県自体の規模が小さくなって済むのではないか。現在地で耐震改修するか、手狭なら廃校校舎を活用したらどうか。
397	学校は耐震化しているのなら、現庁舎で危険な箇所は解体撤去し、耐震補強で緊急時に備えることも必要ではないでしょうか。
398	学校では築55年以上のものも耐震補強している。県庁舎も十分補強できる。もっと県民の声を聴くべき。
399	現県庁舎と県警察本部庁舎は、震度6強で倒壊・崩壊する危険性が高いとされるが、耐震補強を行えば済むことである。
400	県民は直接県庁を訪れる機会は少なく、庁舎の建て替えは職員のためではないか。基金は広く県民のためだけに使われるべき。
401	県庁の移転新築により、効率化が測れるという考えも全く理解できないことはないが、中心商店街へのダメージが一層深刻化する。
402	基本構想そのものに反対。長崎市内移転ありき。長崎市内に限定せず、白紙に戻って再度議論をやり直すべき。
403	理由を問わず県庁舎を建設する必要は全くない。不要になった学校の諸設備を活用し、財政難に対応すべき。余りにも甘すぎる体質が公務員にありすぎる。
404	このご時世に建設をしなくてはならないのか？耐震性の確保の問題は、病院、小中学校を早急にしてほしい。県庁の建替えも大事でしょうが未来の子供たち、病気で苦しんでいる人たちの方が大事な気がします。
405	道州制の動向を考えながらすべき。県庁の移転整備はまだ早すぎる。合併旧町の庁舎が良い例。決定まであと5年待つべき。
406	どの程度の地震を想定して耐震性が不足すると判断しているのか。新庁舎を建てる前に借金を返す努力をすべき。
407	着工においては、まだ時期が早い。最優先すべきことは、県民の日々の生活でまずは県民の雇用促進支援が大事です。経済効果を求めるなら、長崎市地下街の建設や観光にスポットをあて「医療通訳」「司法通訳」「観光通訳」の充実をはかり、県民をターゲットに通訳の専門性を高めるべき。
408	370億の基金は県税を貯めたもの。県庁舎新築に使って欲しくない。反対です。
409	県民は県庁舎が建替えられても何等メリットはない。恩恵を受けるのは県庁職員、議員、関係業者のわずかな関係者のみ。震度6以上の地震を想定しても今まで発生していない。

	意見の要旨
410	現在地に県庁があることでシンボルであり、移転すると経費がかかるので、現在地に県庁はあってほしい。
411	現在地から移転すると周囲に与える経済的影響が大きい。移転は反対。
412	県庁移転計画にさまざまな疑問や問題点を感じる。魚市跡地は市内で一番危険な場所、どうしても建替える必要があるならば現在の庁舎や県警本部のビルを活用しながら、その一帯に増築が妥当。魚市移転は「アーバンルネッサンス」という再開発が目的で県庁移転のためではないはず。
413	伝統的な長崎の町がくずれる。県内業者のことも考えるべき。誰が得をするの？県庁の一般市民の利用率は低いのでは？10年後には10万人も人口がマイナスになる。
414	現在の県庁へ行く用事はほとんど無く、現在地でも何ら不自由は無い。基本的に賛成とは言えない。
415	現在地に存在する歴史的意味を捨て、埋め立て地に行く理由が判然としない。
416	財源は確保されていると言うが、他都市の例を見ても予算以上の莫大な出費がなされているという。計画の根本的な見直しが必要ではないのか。
417	温暖化による海抜上昇に対する対策の方が必要ではないか。
418	他部局との調整が頻繁でない部局は賃貸でもいいのではないかと。これ以上長崎港の景観を壊さないで下さい。
419	建てるのではなく、デパートをまるごと役所にして、地下を食料品売り場にしたらどうか。
420	長崎県の学校耐震は全国で最悪と聞いている。県庁舎の整備の前に、学校耐震化を先にすべきではないか。県民の命・生活を守ることを最優先に考えるべき。それからでも県庁移転は良いのではないかと。
421	道州制が実現した場合、県庁は1出張所にすぎなくなる。そんなものに何百億円も金をかけるのは無駄だ。
422	県庁舎移転ありきの感が大いにします。新幹線同様県民の反対の意見に対して聞く耳をもって対処してほしいと思います。後世に借金を残さぬよう頼みます。
423	雇用対策に金をかけるべき。また、市民税・県民税を減額させるのに利用した方がかなりプラスになると思う。それをさしおいて実施する程急務なのか。
424	魚市跡地へ移転整備することに反対。近隣商店街に与える経済的打撃が大きすぎる。商店街が衰退すれば、くunchもさびれ、長崎全体にとって大問題。県庁舎は現在地に整備すべき。魚市跡地は他の活用法を考えるべき。現在地の課題は狭いことだが、県の業務をまず減らすべき。それでも狭ければ知恵と工夫で乗り切るべき。
425	県庁がなくなると江戸時代から出島を中心に栄えてきた町の営み・文化を破壊しかねない。新庁舎が県内外に誇られても、地元の街並みが減びては意味がない。
426	魚市跡地での整備に反対。魚市跡地と現在地は同じ岩盤があるのならわざわざ地盤の弱い魚市跡地に建設するより、現在地で建て替えるか、耐震化工事を検討すべき。
427	現庁舎は本当に危険なのか。危険であれば如何に安く現在地で造り替えることができるか検討すべき。
428	移転するのは無駄遣い。今の庁舎を改修した方がいい。

	意見の要旨
429	移転反対。現在地の方が便利が良い。
430	移転に賛成できない。県庁は市の中心部にあるイメージなので、今の場所にあってほしい。
431	長崎で最も地盤の強い所は昔からの長崎半島と思う。
432	分散化した庁舎は不便ですが、旧西日本新聞長崎支社や日本生命長崎ビルなどを買収することも含め、現在地近隣とすることが望ましいと思う。
433	県庁が移転すると浜の町がこれからどうなるか心配している。
434	現在地が良い。歴史的にみても、江戸時代から外国に開かれた港町の特色を生かし、港を見下ろす現在の位置がふさわしいと思います。
435	現在の「県庁移転」案に反対。
436	県庁舎建設移転は再検討したほうが良い。地元自治会や商店街をはじめ市民の合意が得られていない。県民への細やかな対応を望む。市内で最も安全な「現在地周辺」で最小限の投資での移転を望む。
437	現在地では無理なのか。
438	現在地は歴史ある場所。それなのになぜ、地盤の弱い魚市跡地で発揮できるのか。
439	現在地は歴史ある場所。それなのになぜ、地盤の弱い魚市跡地で発揮できるのか。
440	建設場所は利便性から考えると大村が適地ではないか。
441	警察本部周辺への移転を提案する。県警本部周辺は地盤がしっかりしており、地震による液状化や津波の被害を受けにくく、県庁が孤立しない。周辺の建物を買収していけば必要な面積は確保できるのではないか。警察本部庁舎周辺への移転であれば地元の商店街が受ける影響も最小限に留められるのではないか。魚市跡地に移転すれば、県庁舎は無傷でも、周辺が液状化や津波の被害を受け、県庁だけが孤立してしまうのではないか。
442	魚市跡地の先の方が一段低くなっているのは何故か。満潮時に見る不安を覚える。AI G横の空き地などを買ってそこに建てたらどうか。
443	庁舎の集約化について内容が不十分。
444	現庁舎の課題を県民に説明すべき。
445	埋立地では長周期地震動に対して不安。
446	狭隘化は整理整頓をすれば良いのではないか。
447	魚市跡地に移転することが同意されているのに、なぜ声を聴く会のようなことをし、多数の方が県内各地を回るのか。
448	これまでの進め方についてはほぼ了です。各界、各層の意見に十分配慮した最終判断にしてほしい。

	意見の要旨
449	平成20年に開催された懇話会は、移転・新築が前提の人選ではなかったのか。
450	財源や行政機能の向上・維持費用の圧縮・環境面・利便性など多様な検討がされており、異議なし。
451	県庁移転に緊急性があることを県民は了解しているのか。
452	県は県庁をどうしたいかを県民に再度確認し、了解を受けた計画で事業をすすめるべき。
453	財源の見通し、中心部から観光地としての流れなど犠牲にしようとするものがどれだけの歴史的な人たちの努力の積み重ねか。
454	大学も大村に移転すると町の活性化・土地の有効利用・交通の便からも良い。
455	魚市跡地は立地の良い場所なのに、なぜ一部の者しか利用しない庁舎をつくるのか。一般人は県庁に行くことはない。
456	反対する人たちへの何らかの配慮を忘れてはいけない。
457	庁舎等の構造・配置については、防災等色々な分野で協議、検討されているので問題ない。
458	「新時代環境共生型庁舎」で資源を投入し新規に建てるよりは、今あるものを活用する方がより環境に優しいのではないか。
459	建設の可否については、一長一短あり、一口には言えない。
460	不確定な問題の結論が出ていないのに魚市跡地に新庁舎を建設するという結論ありきの議論は拙速すぎるのでは。
461	新庁舎の整備の必要性について、再度、県民目線に立って議論してほしい
462	県政が疲弊しており、基金の用途変更は県民の理解が得られるだろう。職員や議員の数を減らし、給料を下げれば建設費用の補填になるだろう。
463	建設場所を決定する決定方針を県民に示したほうがいいのではないか。例えば県民アンケートなどは一番シンプルだ。
464	将来の地方行政のあるべき姿を見てからでもいいとも思うが、耐震能力を考慮すると悩ましい。
465	長期的な展望にたって計画を進めて欲しい。そのためには現在の庁舎の場所では駄目だ。
466	県全体の活性化などを考慮したとき、広大な敷地がある県央地区への計画が望ましい。または集約より分散化が県全体の活性化になりうるのではないか。基本理念の見直しから望む。
467	耐震性の観点、移転地が魚市跡地である点、跡地活用、など明確に県の意見として示すべき。反対している人も合理的な意見はないのではないか。
468	地方機関棟を別に作った方が県民には分かりやすい。
469	現在地建て替えは出島の景観に影響があると書いてあるが、県庁自体が観光客が訪れることができるようにしたらどうか。
470	商店街に問題があるというが、元々活気があるように思えないので、心配はないのでは。
471	大規模な地震で倒壊・崩壊する恐れがあることや来庁者が分かりにくいことなどから庁舎は新しくすべき。

	意見の要旨
472	安全面を考えると、改築すべきだが、費用は県民にとってとても重いものになる。生活が厳しい家庭にとっては大きな負担になるのではないかな。
473	警察本部は本当に耐震改修が困難なのか。県庁舎と同一敷地にあった方が良いので計画しているのではないかな。むしろ長崎署と稲佐署・浦上署を統合した警察署をつくるべきはないかな。
474	魚市跡地は国際県長崎に相応しい利用法があると思う。
475	県経済発展のために投下すべき資金と県庁移転に投下すべき資金との比較検討も必要ではないかな。
476	魚市跡地の地盤改良等に要する経費はいくらかかるのか。他の場所に建設した方が安くなるのではないかな。
477	分散庁舎を集約することは県民の利便性や業務の生産性が高まり良いことだが、被災した時のバックアップ機能が大丈夫かという点、また集約することで衰える地域が出てきて、特定の人々が利益を得るような事が起こるのではないかな。
478	災害発生時の拠点となる機関なので、早急に整備をお願いする。場所は交通アクセスが良い場所が良い。
479	無駄遣いのないよう、必要最低限の施設とすべき。
480	玄関口である長崎駅側に県庁が必要なのか。もう少し移転するかどうかについて議論が必要ではないかな。
481	今の厳しい社会情勢から400億円近い巨額の税金を投入しなければならないのか。もっと使い道がないのか。どうしても建て替えが必要なら、道州制後のことを考え、県央が良いのではないかな。
482	現在地に込められた意識を今後も何らかの形で公正に伝えられることがある程度必要。県行政のある部分を残しかつ、地域にさらに拓かれた場所として活用し、その場所・建物・人材においてもより良く使い続ける必要がある。
483	市中心部より遠く外れる事は好ましくない。耐震性の確保は重要な事で中心部近郊であれば良いと思う。
484	参考になる意見を聴き、構想案の内容も理解できた。
485	道州制に向かっている時に、建設場所は県民全体のことを考えて決めるべき。それよりも先に長崎と佐賀を合併すべき。
486	良く分かった。構想案そのままが良い。
487	県庁は長崎でいいが、図書館は大村にお願いしたい。
488	県庁が大村に来る可能性があれば声を聴く会のような公聴会は必要だが、無い状況では何のための会なのか不思議だ。
489	新庁舎になったら職員がどのように県民サービスのレベルを上げるのかが伝わってこない。
490	新庁舎内に婦人会館を入れてほしい。現在の婦人会館は福祉施設に売却してはどうか。
491	建設地はゼロベースで考えるべきではないかな。狭隘であれば県央も同時検討しすべき。交通の便が良いところが良い。
492	移転か新築かは効率最大化と費用最小化を条件に判断すべき。

	意見の要旨
493	県庁舎は一般県民が頻繁に訪れる場所でない。無理に呼び込むことを意識せず、この空間を広く県民が活用できる公共施設(コンベンションホールや劇場など)に活用した方がいいのではないか。
494	水害・災害時の対応を懸念するところあるが、反対派の意見は少数だったと思う。
495	県庁舎移転は、同商店街にとっては死活問題であり、新築移転が不可避であるならば、同商店街の活性化策や再整備計画等について、並行して検討を行っていく必要があるのではないか。
496	県庁舎の問題は県側のPR不足が否めない。一般市民や婦人会などで県庁舎見学ツアーを企画し、現在の庁舎の現状を間近で確かめていただくような機会が必要なのではないか。完成予想のイメージパースなども露出されると県民の印象も大きく変わるのではないか。
497	「魚市跡地に新築移転」が規定路線として変えられないもののように誘導されていたように思います。
498	移転には賛成ですが、移転する際の費用・場所などはもう一度検討したほうが良いのではないか。災害時に備える移転のほずが移転先は埋め立て地を選んだり、本当に450億円必要なのか疑問は残る。移転をただ急ぐのではなく、もったきちんとした議論の場を設けて、県民が了承できる移転案ができればと思う。
499	現在の移転計画は、財政や長崎市の観光、人の流れ、まちづくりに関わる問題など、県・市の将来に重大な影響を及ぼす多くの重大な問題がある。よって、移転は県民(とりわけ長崎市民)の意見を広く真摯に聞き十分な討論をへて決めるべき、必要なら県民投票すべき。
500	移転先が埋立地ということで地震の際の耐震性、液状化に問題がないのか。
501	基本的に賛成だが、周辺の反対の声や跡地の財源をどう説明するか疑問。
502	警察本部は築55年になり、老朽化が進んでおり、防災拠点の耐震性を確保してほしいです。
503	他県の庁舎を数カ所見たが、やはり長崎県庁舎は古いと思った。
504	いろんな場合の見積もりをしているはずだからその金額をきちんと公表してほしい。
505	現県庁舎は確かに建て替えは必要だが、魚市跡地は様々な問題ありのように思える。
506	防災拠点であれば、なぜ埋め立て地に置くのか。
507	地域懇談会の開催を年1回程度お願いする。
508	声を聴く会では反対意見もあったが、県民に説明する際は委員の一致した案で対応して下さい。声高々に委員から反対意見があるのは何とも見苦しい。
509	今回は行政でなく県議会が表になった状態ではありますが、行政が主導という事は考えられなかったのでしょうか。
510	前回、県民の声を聴く会で対馬が対象になかったのは残念。
511	対馬にも、もう少し早く県民の声を聴く会をやってほしかった。

	意見の要旨
512	県民の声を聴く会は不要ではないか。他の方法で経費縮減が図れると思う。
513	大まかな形ができれば、再度、県民の意見を聴いてほしい。
514	アーバン計画で建てた愚を繰り返さないためにも、縮尺模型をつくり、丁寧に意見を求めて下さい。
515	建て替えを行うかどうかの決定をどういったプロセスで行うのか、またいつ頃までに行うのかなどを県民に示していただきたい。
516	県民の声を聴く会の会場長崎会場は狭かった。
517	一定時期には建て替えも必要と思う。多くの専門家の意見を参考に、県民が納得できる方法を考えていただきたい。
518	意見を出せといわれても慣れていない人が多い。県民アンケートをしたらどうか。
519	意見なし。
520	意見なし。
521	特に意見はありません。
522	意見なし。
523	意見なし。
524	意見なし。
525	特になし。
526	意見なし。
527	意見なし。
528	道州制では更に福岡への一極集中が予測されるので、各自治体の事情に応じ、きめ細かい地方自治を願う。
529	県の出先機関の統廃合や市町村合併によって生じた空き庁舎の有効活用を目指してほしい。
530	仮に道州制になった場合には県(道州)まで国民が赴く必要がないように市町村の権限を拡大強化すべき。
531	これを機に国の事業仕分けのようなことをしてはどうか。例えば県議に対する見直し(報酬・定数など)色々と検討していただきたい。
532	県庁玄関職員は県庁の顔として自覚を持ってもらいたい。
533	県民に親しまれる場となるには、職員のサービス向上などのレベルアップが必要であり、幹部からの率先垂範を望みます。そういう場ができれば、高価な箱物でない世界遺産に匹敵する庁舎となりうる。

	意見の要旨
534	離島でも、納税証明書が発行できないものか是非検討し、早期に発行出来るようにお願いします。
535	道州制について認識がない。道州制は2018年に完全移行とあり、常に傾注してほしい。
536	離島からのアクセスの利便性を確保してほしい。
537	離島の道路を整備して下さい。
538	浦上川沿いの新高架線は稲佐橋付近まで高架にしてほしい。
539	県北や県南、離島、県外から見ると不便というイメージがあるので、県庁舎の建設と並行して、交通網の整備を希望する。
540	長崎市に新庁舎を建設するのであれば、県北から長崎までの交通アクセスを整備してほしい。
541	長崎市への一極集中は特に県北の県民は納得できません。県北振興局の機能アップと長崎市へのアクセス向上を要望します。
542	県民誰もが利用する道路整備等インフラを先に整備していただきたい。
543	県庁舎の防災拠点としての重要性は理解できるが、災害弱者を収容する学校や病院の耐震化が先ではないか。
544	学校耐震化は国の方針を踏まえ、より良い方法を検討すること。
545	学校などの他の公共施設の耐震化はどうなっているのか。総合的に判断して下さい。
546	学校耐震化を優先すべきではないか。
547	渋滞の対応を考慮してほしい。
548	宝町周辺道路の慢性的な渋滞が懸念される。
549	稲佐橋から梁川までの道路の渋滞を考慮してほしい。
550	渋滞しないよう配慮してほしい。
551	旭大橋の低床化を庁舎移転前に実現すること。
552	旭大橋の低床化が実現するかどうかで交通渋滞が心配。
553	旭大橋を低床化し、電車を通してほしい。
554	庁舎移転に多額の費用を用いるのであれば、雇用や福祉など社会的弱者への支援を優先すべきではないか。
555	県民が利用しやすい県庁舎をつくるべき。ただし他県業者が受注するのなら新庁舎は建てないで下さい。

	意見の要旨
556	分権や人口減少等の時代にあって、何にも優先して庁舎建設の必要があるのか疑問。
557	周辺住民の安全面に考慮すべき。
558	ハンディを抱える離島に特別な経済・雇用対策をお願いする。
559	魚市跡地はフェリーターミナルになるべき、新幹線とフェリーを結びつけることが五島などの離島振興にも有効。
560	私利私欲の意見もあるが、県庁舎は全県民のものということを念頭に議論すべき。
561	離島特に対馬との交通について考えて欲しい。対朝鮮国は個人的に驚異を感じているが、国策になるが、県としてはどのように感じているか。
562	分散している施設は全て集約できるのか疑問。
563	テナント募集は公平・公正に公募による入札をすべき。
564	なぜ駅前一等地を公的機関が占有するのか。
565	移転に伴う周辺の経済的影響について配慮いただきたい。
566	現在の長崎魚市場の地位の低下や市場関係者の心情を考えると、「長崎魚市跡地」の表現は別途の名称を考えるべきだと思います。
567	万一地元住民が反対するのなら、大村駅周辺に建てるべき。
568	声を聴く会でみなさんが真剣に考えていることを感じた。同じ県民として真剣に取り組みたいと感じた。
569	障害を持つ方は県庁まで行くのが不便なので、市内で手続きができれば良い。
570	魚市跡地は地盤沈下の危険性はないのか。
571	防音のため、二重ガラスにして下さい。
572	旭大橋はまだ80年～100年は使える。壊さないで下さい。
573	高潮や津波・あびきなどにより新庁舎が浸水被害にあわないか。
574	長崎駅と浜の町とのアクセスは電車の高度化利用(ピストン運行など)により解決できないか。
575	庁舎が大変狭いため、広い庁舎にする必要がある。
576	長崎が観光で生き残るために、魚市場跡地に10階建てくらいの駐車場を作って下さい。

	意見の要旨
577	分散化した古い庁舎は確かに非効率な側面があるが、庁舎の効率がよくなっても県全体の分散型の地理条件は変わらない。その物理的条件をクリアして県政を運営していく上で、一個に集中した「効率的」庁舎が県の実情とこれからの時代にあったものと言えるのか、その議論を抜きにしてこれからの長崎県は考えられない。この点に関しては、庁舎を一つにしたからできなくなると言うことではないと思うので、もしも新築移転が決定しても引き続き離島県として検討下さい。
578	現庁舎がなくなると、現庁舎付近の飲食店を中心とする店舗の衰退が避けられない。付近店舗が新庁舎のレストランや弁当としての優先的な参加ができるような配慮ができないか？
579	庁舎は、県内だけでなく全国から人が集まるので、公共交通機関をスムーズに乗り継ぎ、早く判りやすく目的地へ行けるような便利な場所が最適と考える。
580	県庁舎が魚市跡地に移転する事に反対。長崎の玄関口に週末休みの役所を持ってきてはいけない。もっと長崎の水産の賑わいに使って欲しい。官庁は道路さえ整備されていればもっと土地代の安い所でも良い。
581	魚市跡地は一大観光イベント街づくりとしたらどうか。
582	多くの関係団体が入居しているが、関わり方、経過を十分尊重し、業務が円滑に行われるように適切な対応を求める。
583	移転できるよう頑張ってください。
584	県庁舎は震度6強で倒壊又は崩壊する恐れがあるとのことだが、新庁舎が完成するまではそのままにするのか。
585	まずは的確な地震予測の調査をすべきではないか。
586	現庁舎の耐用年数は60年とあったが、鉄筋コンクリート造の寿命は風雨で浸食され、セメントが中性化し、鉄筋まで達しコンクリート強度が失われた時である。故に外部仕上げ・施工地術・立地環境に左右される。本庁舎を日本建築学会の耐用年数推定式で算出すると約100年と出るが如何か。
587	危険な部分は6階ではなく6階の建物と床を支えている1～5階の部分になりませんか。
588	なぜ、移転先は魚市跡地でなければならなかったのか。
589	費用対効果をどのように考えているのか。
590	現在地に建て替えた場合に必要となる仮庁舎83億円の内訳はどのようなものか。
591	魚市跡地は県立図書館はどうか。国際会議場機能も併せてもたせると良い。
592	工事実施の時は総責任者、担当者の責任者をはっきり公表してほしい。
593	道州制の論議が煮詰まるのを待った方が良いのではないか。
594	新別館の防災機能施設が不足するのなら防災センター周辺に増設すれば解消するのではないか。

	意見の要旨
595	狭隘を解消するには書類を整理しては。分散化については民間の空きビルを活用し、民間活力の活用に貢献しているのでは。
596	海辺に高層ビルを建てればヒートアイランド現象で真夏は耐え難い暑さになる。そこは考えているのか。
597	地域経済の振興や福祉の充実をはじめやるべき仕事は山積みしている。
598	県内では「貧困と格差」が広がり、県民生活は困窮化の一途をたどっている。また県庁舎が移転することになれば、市庁舎近辺までに所在する民間支社、営業所等は、駅周辺にシフトされることになる。このため周辺一帯の事務所、食堂などさまざまな業種の営業活動は重大な影響を受け、浜町商店街もその例外でない。
599	身分不相応な夢のような県庁など不必要だと思う。
600	数百億円の準備金があるなら、他にやることがあるのではないか。